

# 令和6年度 木古内町当初予算の概要

## 一般会計は42億3,867万円

### 4月に町長選を控え、当初予算は骨格予算編成

令和6年度当初予算編成は、佐女川跨線人道橋撤去事業や元瓜谷橋架替事業の工事費などを盛り込み、前年度より約1億9,371万円の増額となっています。

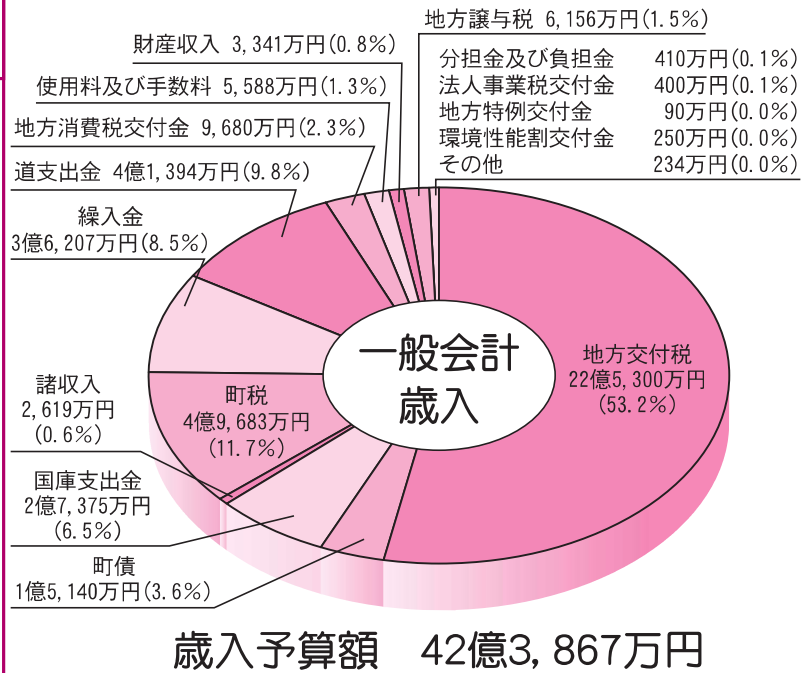
予算の内訳は、一般会計が42億3,867万円の前年度比+4.79%で1億9,371万円の増、各事業会計・特別会計の合計は48億5,804万円の前年度比△1.22%で5,999万円の減となっています。

#### 歳入

#### 地方交付税が 前年度より減額

歳入予算は、普通交付税については、前年度の交付実績等を基に前年度並みとなっていますが、特別交付税については、国保病院の算定病床数の減等により7,000万円の減額を見込み、2億円となっています。基金繰入金の総額は、前年度から1,078万円増の3億6,207万円となっていますが、このうち、資金不足を補うための財政調整基金（貯金）の取り崩しは、各種医療費や保健・予防事業などの対象者数の減による扶助費等の減、職員給与費の減等により、前年度より4,368万円減の1億6,763万円となっています。

また、町債（町の借金）については、公共施設の老朽化対策の減等により、前年度より2,780万円少ない1億5,140万円となっています。



#### 歳出

#### 橋梁撤去・架替費用を 予算計上

歳出予算は、マイホーム取得などを支援する移住・定住新生活しあわせサポート事業や出生祝い・小中学校入学祝い事業、水道料金軽減事業等の生活支援や子育て支援に繋がる継続事業を計上しています。

総務費は、江差木古内線バスの更新や町長選挙に係る費用等を計上し、前年度より3,603万円の増額となっています。

衛生費は、病院事業会計負担金の減等により、前年度より9,636万円の減額となっています。

土木費は、木古内川河川改修に伴う元瓜谷橋架替事業や道南いさりび鉄道の線路上に架かる佐女川跨線人道橋撤去事業の工事費等を計上し、前年度より2億8,660万円の増額となっています。

